



地震火災対策の答えはこちら

Q6. 阪神淡路大震災で発生した建物の火災で、最も出火件数が多かったのはいつ？

答え：3 停電が復旧し、電気が通じた時



なぜ停電が復旧し、電気が通じた時に出火するの？

「**通電火災**」をご存じですか？

通電火災とは、地震後停電から復旧したときに起きる火災のことです。

なぜ復旧時に火災が発生するかというと、地震により倒れた**電気器具**(ヒーターや厨房器具など)が洗濯物などの可燃物に接触したまま通電することで出火します。また、**損傷した電気配線**に通電することで、**短絡(ショート)**し出火することもあります。

阪神淡路大震災では、建物火災で原因が特定できたもののうち、大半がこの**通電火災**によるものでした。



Q7. 地震に伴う、電気火災の予防対策で有効な方策はどれか？

答え: 1・2



感震ブレーカーって何？

感震ブレーカーとは、設定値以上の地震の揺れを感知して自動的に電気の供給を遮断し通電火災を防ぐ効果的な器具です。

本来であれば、通電火災を防ぐために避難時にブレーカーを落とすのがベストですが、大地震発生時はとっさにそのような行動がとれるか分かりません。そこでこの感震ブレーカーがその役割を皆さまの代わりに担ってくれるのです。



中消防署ホームページでは
最新の火災発生情報などタイムリーな話題を
発信しています。ぜひ、一度ご覧ください！



名古屋市中消防署